論文概要

東京医療保健大学
医療情報学科
学籍番号　HS010040
氏　　名　坂井 美月

病院内の医療関連業務データを用いた
コホート研究による転倒予防因子の検討

転倒事象は高齢者であればあるほど、また、体に何かしらの不調がある場合にその発生リスクが高まると言われている。このことから、医療機関において転倒・転落事象が起こる確率は非常に高いことが予測でき、多くの医療機関ではこれらの事故の低減を目的とした取り組みが行われている。

事故の低減を図る取り組みとして、患者の転倒リスクを予測するためのアセスメントシートを利用する施設は少なくない。アセスメント項目には、過去の研究において患者の転倒に何らかの影響を与えていると思われる患者の特徴等が設定されている。しかしながら、これらの項目が本当に転倒と関連しているかについては十分な確認はなされていない。そこで、本研究ではアセスメントシートの各項目と転倒発生との因果関係をコホート研究で確認することを目的とした。

都内のA病院で2012年8月1日から2012年10月31日までの間に入院した全患者を対象に、病院内で蓄積された転倒に関するアセスメントデータおよびインシデントレポートを用いて過去にさかのぼったコホート研究を行った。

ロジスティック回帰分析と生存時間分析を行った結果、前者では「65歳以上/9歳以下である」、「骨・関節異常がある」、「術後3日以内である」、「鎮痛剤の使用がある」の4項目は、該当することにより本来は転倒しやすくなると考えられていたが、分析では転倒しにくくなるという結果であった。後者の分析においては、これらの項目については、転倒との関連性は認められなかった。

しかしこれは、本研究の対象期間が3カ月と限定されており、今回の分析に用いたデータでは転倒事象数も少なかったため正確ではないと考えられる。そのためこの先より多くの事例を収集し分析を行うことで、より詳細な分析結果を得られ、さらにより有効なアセスメントシートへの改訂にもつながるのではないかと考えられた。

Document generation powered by Print2Flash. Get and try it from www.print2flash.com for free!

目次

第1章　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P1-P3

第2章　研究目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P4

第3章　研究方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P5-P6

第4章　研究結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7-P14

第5章　考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P15-P16

第6章　謝辞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P17

第7章　参考文献・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P18

Document generation powered by Print2Flash. Get and try it from www.print2flash.com for free!